

広島県の先生になってみんなさい。



「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現」を目指しています。

初任者研修

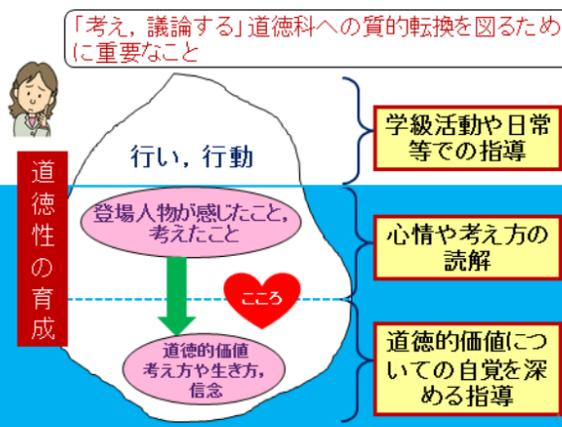
広島県では、「授業力向上」を最大のテーマとして、初任者研修を実施しています。初任者が自信をもって教壇に立てるようサポートしています。

小学校，特別支援学校小学部

平成28年度 第五期(9月6日・7日)の様子

- 【第五期の内容】
- 特別支援教育の進め方
 - 心に響く道徳教育の進め方
 - ネットワーク社会における情報モラル
 - グループ別教育実践研究③

「心に響く道徳教育の進め方」



「心に響く道徳教育の進め方」では、心に響く道徳授業や学習指導案の作成のポイントなどを中心に、道徳の授業の基本的な考え方や進め方について理解できるよう、講義・演習を行いました。



【受講者のアンケートより】 小学校教諭

道徳の授業では、いつも心情を考える授業ばかりしていたが、今回の研修で「こころ」が直接に書かれていない箇所や、判断理由、意欲等を問うことが大切だと学んだ。今後、発問のバリエーションの幅を広げて学びのある道徳の授業をしたい。

「グループ別教育実践研究③」



「グループ別教育実践研究」では、教材研究から授業実施（模擬授業）までのプロセスの演習・協議を行い、5回の研修を通して授業力向上を目指します。グループごとに研究テーマを決め、テーマに基づいた学習指導案をグループで検討しながら作成します。その後、模擬授業演習や事後協議を行い、初任者が主体的に授業づくりに取り組んでいます。



授業者と児童役に分かれて模擬授業を行います。話すスピードや板書の仕方などの基本的な教育技術を含め、より実践的な「授業力」が身に付きます。



模擬授業後はグループ協議で授業を振り返ります。多様な意見を出し合い、課題について話し合うことで学びが更に深まります。

【受講者のアンケートより】 小学校教諭

日々の授業の中でどのような工夫をされているのかを知り、同じ初任者という立場だからこそ実践が可能ですぐにできそうと思えるものをたくさん見付けることができました。

【受講者のアンケートより】 特別支援学校教諭

良かったところや改善点を考えることで、日々の授業を思い返すことができた。特に即時評価や視覚化の大切さを改めて感じた。